ICOM

ご使用になる前に

作業連絡用無線設備 子機
IC-5880 WITHCALL PRO®

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、注意事項と基本的な取り扱いを記載しています。
本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート情報→法人のお客様(または、個人のお客様)→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。

アイコム株式会社　サポート情報
https://www.icom.co.jp/support/

アイコム、ICOM、ICOMロゴ、WITHCALL PROロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32
202212
A7713H-1J Printed in Japan
© 2022 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- **保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡ししいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- **弊社製品の技術的なお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。
お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ **携帯電話・公衆電話からのご利用は、**
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)
電子メール : support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ : https://www.icom.co.jp/

防塵/防水性能維持の定期点検と保守

本製品は、IP67を保証している無線機です。
保証期間については、保証書をご覧ください。この防水性能を維持するためにも、保証期間経過後は定期点検(年1回)の実施をおすすめします。
また、防塵/防水保証の延長なども含んだ保守サービス(有料)を準備しております。
定期点検や保守サービスの詳細については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

◎ **使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。**
◎ **次の「⚠危険」、「⚠警告」、「⚠注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

⚠危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 共通(無線機本体/充電器/バッテリーパック)

⚠危険

◎ **引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
◎ **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。**
- 充電器に指定以外のACアダプターを接続しないでください。
- 指定以外の充電器を使用しないでください。
- 充電端子間をショートさせないでください。

⚠警告

◎ **分解、改造しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
◎ **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
◎ **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。
◎ **電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。**
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
◎ **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
- ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
- ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

⚠注意

◎ **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
◎ **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
◎ **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
◎ **−10℃～+50℃以外の環境では使用しないでください。**
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

■ 無線機本体

⚠警告

◎ **アンテナを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。**
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
◎ **アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続したりしないでください。**
感電、故障の原因になります。
◎ **大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。
◎ **電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。**
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
◎ **民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。**
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。

⚠注意

◎ **アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。**
変形や破損の原因になることがあります。
◎ **ビープ音用の開口部に針金などを差し込まないでください。**
ビープ音用の開口部は、内部に貼られた防水シートにより無線機内外の気圧を調整する機能を兼ね備えています。防水シートが破損すると、防浸性が失われる原因になることがあります。
◎ **付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
◎ **電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。**
テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、ブレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。

■ 充電器

⚠警告

次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
- 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

⚠注意

次の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
- 10℃～40℃以外の環境で充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

■ バッテリーパック

⚠危険

◎ **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。**
- バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
- バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
- 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
- バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。

◎ **火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。**
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
◎ **火の中に投入したり、加熱したりしないでください。**
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
◎ **コンクリートなどのかたい床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

⚠警告

◎ **使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。**
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
◎ **指定の充電時間以上、充電しないでください。**
指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
◎ **満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。**
過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
◎ **バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。**
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
◎ **テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。**
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
◎ **バッテリーパックは、ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。**
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

⚠注意

次の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、(残量あり)の状態を表示するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
約1ヵ月 : −20～+50℃　　約3ヵ月 : −20～+40℃
約1年 : −20～+20℃
- 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

バッテリーパックの特性と寿命について
◎ バッテリーパックは消耗品です。充電できる回数は、300回～500回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください。
◎ 発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。
◎ 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
◎ 劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。
◎ 充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

バッテリーパックの膨らみについて
性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。
◎ ひんぱんに充電している
◎ 満充電直後でも再充電している
◎ 高温な場所で使用・保管している
◎ 本書で説明する充電方法と異なる
バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。

使用後はリサイクルへ
Li-ion
この製品は充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。
JBRCホームページ　https://www.jbrc.com/

アルカリ電池ケースについて
単4形アルカリ乾電池専用のアルカリ電池ケース(別売品:BP-308)をご使用になる場合は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器
◎LED照明器具　◎電磁調理器　◎給湯器
◎自動車に搭載された電子機器　◎太陽光発電装置

電波法上のご注意

◎本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。
◎本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。アンテナを加工して使用したり、弊社指定以外のアンテナを使用したりすると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。
◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
◎使用できるのは、日本国内に限られています。

表記について

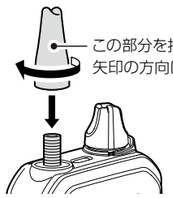
本書では、IC-5880を子機、IC-MS4880を親機と表記します。

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977)　東京都墨田区菊川3-17-2 アドン菊川ビル4F / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5　URL : https : //www.exseli.com/

付属品について

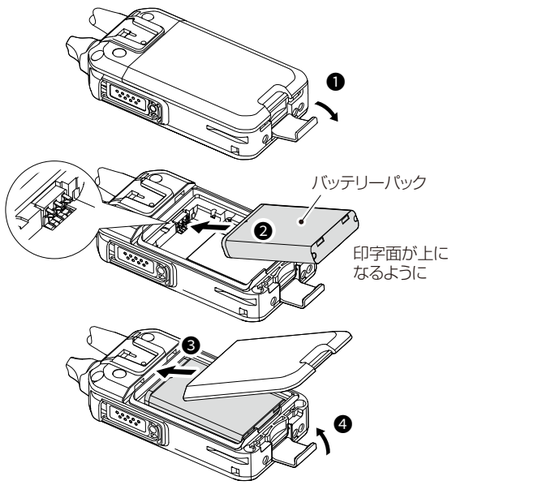
□ アンテナ　□ バッテリーパック(BP-304A)
□ ハードケース(LC-196)　□ ご使用になる前に(本書)　□ 保証書

■ アンテナの取り付け



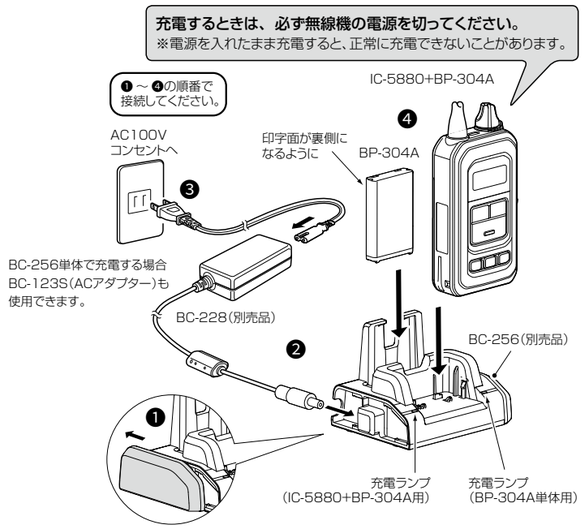
■ バッテリーパックの取り付け

本体の電源を切った状態で、バッテリーパックを着脱してください。
※お買い上げいただいたときや2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してからご使用ください。



充電のしかた

ご購入後、はじめて、ご使用になるときは、必ずバッテリーパックを充電してください。
※充電器(BC-256)と充電器専用の電源は、別途ご購入ください。



充電ランプ
充電中：青色点灯　充電完了：消灯　充電異常：青色点滅★
★充電異常時は、上図の接続を確認し、充電しなおしてください。
※10℃～40℃環境下での充電を推奨します。

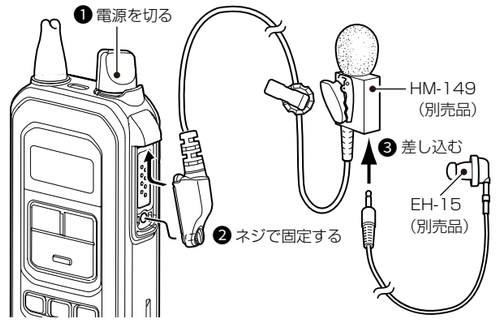
■ 運用時間と充電時間

容量　：2200mAh min.(2350mAh typ.)
運用時間：約15.0時間(同時通話状態で連続使用時)
充電時間：約4.0時間(無線機に装着した状態でBC-256を使用時)
　　約3.5時間(BP-304A単体でBC-256を使用時)

マイクロホンとイヤホンの取り付け

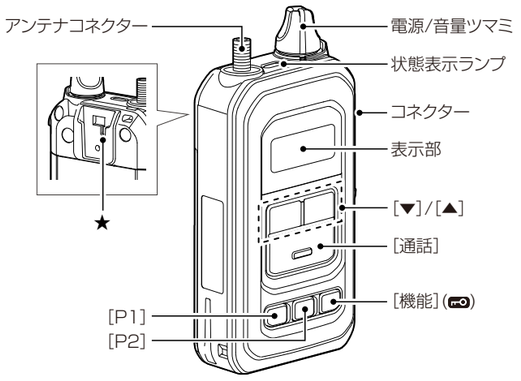
取り付けていない状態では、双方で音声が聞こえません。

【取り付け例：HM-149+EH-15】



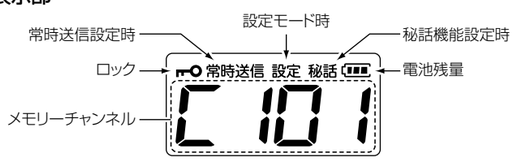
⚠警告
下記の事項を守らないと、聴力障害の原因になります。
◎ コネクターの取り付けや取りはずしをするときは、大きな異音が出ることがあります。
　電源を切ってから、取り付けや取りはずしをしてください。
　また、イヤホンは、耳からはずしてください。
◎ 本製品の音量は最小にしておき、イヤホンなどを耳に当ててから、聞きやすい音量に調整してください。

各部の名称



★ビープ音が出力されます。
　相手の音声は、コネクターに接続したイヤホンやスピーカーから出力されます。

■ 表示部



ロック機能について
[機能]を長く(約1秒)押すと、「ピピッ」と鳴って、「 m-o 」が表示されます。
※同じ操作をすると、ロックが解除され、[▼]/[▲]、[機能]、[P1]/[P2]が操作できます。

■ バッテリーパックの残量表示

▮▮▮：十分に容量があります。
▮▮：充電する時期です。(短時間の運用は可能)
▮：すぐに使えなくなりますので、充電が必要です。
点滅：ほとんど容量がなく、表示が点滅し、残量警告音が鳴ります。

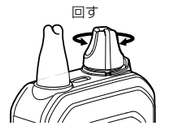
操作方法

1. 電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回すと、「ピー」と鳴り、電源が入ります。
※電源を切るときは、反時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。
※音声信号を含んでいない電波(無変調)が常に送信された状態(常時送信)になります。

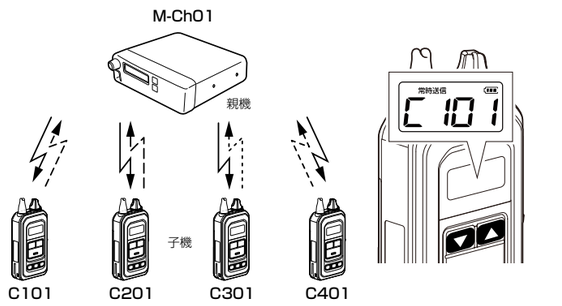
2. 音量を調整する

電源/音量ツマミを回して、コネクターに接続したイヤホンから相手の声が聞こえる音量に調整します。



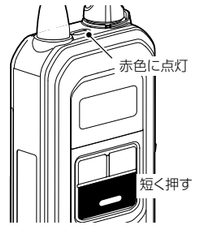
3. メモリーチャンネルを選択する

[▲]/[▼]を繰り返し押して、あらかじめ登録されたメモリーチャンネル(例：C101～C401)から選択します。
※下図の選択例では、最大5台で同時通話できます。



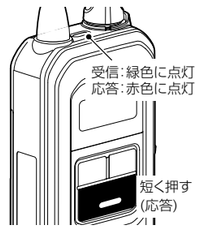
4. 呼び出しをする

[通話]、または接続したマイクロホンのマイクスイッチを押して、マイクに向かって、相手(親機、または子機)に呼びかけます。
※「ピピッ」と鳴り、状態表示ランプが赤色に点灯して、音声信号が送信され、相手が応答すると、電話と同様に同時通話できます。



5. 呼び出しを受ける

接続したイヤホンやスピーカーから相手の声が聞こえてきたときは、[通話]を押して、マイクに向かって、相手(親機、または子機)に応答します。
※応答すると、「ピピッ」と鳴り、状態表示ランプが赤色に点灯して、電話と同様に同時通話できます。



メモリーチャンネル表示一覧表

チャンネルメモリーモード(出荷時の設定)で使用する場合、本製品(子機)と親機に設定されているメモリーチャンネル表示の対比一覧表です。
※1台の親機(例：M-Ch01)と4台の子機(例：C101、C201、C301、C401)が同時通話できます。

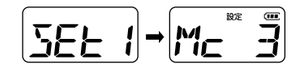
子機(本製品)	親機	子機(本製品)	親機
C101	M-Ch01	C106	M-Ch06
C201		C206	
C301		C306	
C401		C406	
C102	M-Ch02	C107	M-Ch07
C202		C207	
C302		C307	
C402		C407	
C103	M-Ch03	C108	M-Ch08
C203		C208	
C303		C308	
C403		C408	
C104	M-Ch04	C109	M-Ch09
C204		C209	
C304		C309	
C404		C409	
C105	M-Ch05	C110	M-Ch10
C205		C210	
C305		C310	
C405		C410	

※設定内容やメモリーチャンネル表示をお買い上げの販売店で変更して、お渡ししている場合は、上記の表と異なります。
　そのときは、設定内容をお買い上げの販売店におたずねください。

設定モードによる機能設定

設定モードに移行するには

1. 本製品の電源を切ります。
2. [通話]を押しながら、電源/音量ツマミを回して、電源を入れます。
　・「ピピッ」と鳴り、「SEt1」を表示(約1秒)後、設定項目(表示例：Mc 3)が表示されます。



　※「SEt1」が表示されなかったときは、手順1から操作をやりなおしてください。

設定モードに移行後、設定内容を変更するには

1. [機能]、または[P1]を繰り返し押して、設定項目を選択します。
　※[P1]を押すと逆方向に切り替わります。
2. [▲]/[▼]を押して、設定を変更します。
　・変更すると、設定値が点滅します。
　※手順1と2の操作を繰り返して、ほかの設定項目も設定します。
3. [通話]を押します。
　・「ピピッ」と鳴り、設定が確定されます。
4. 設定モードを解除するときは、電源を切ります。
　※設定モードを解除するまで通話できません。

設定モードで変更できる設定項目

◎マイク感度	◎オートパワーオフ	◎送信動作機能
◎接続ケーブルの選択	◎チャンネル非表示	◎P1(短押し)
◎スケルチレベル	◎LCDバックライト	◎P2(短押し)
◎通話通知	◎ビープ音	◎P1(長押し)
◎秘話	◎オートロック機能	◎P2(長押し)
◎秘話コード	◎モニター機能	◎機能割り当て

※詳細については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977)　東京都墨田区菊川3-17-2 アドン菊川ビル4F / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5　URL：https：//www.exseli.com/